

とうせい おか  
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

たよう しゅたいせい かんよう ぎょういく  
～多様な主体性を涵養する教育～



新しい年が始まりました。子どもたちの笑い声が響き、活気に満ちた毎日を送っています。新しく入園した3歳児クラスは、何もかもが初めてでワクワクしながら過ごしています。そして、4歳児、5歳児にも新しい仲間が増えました。

3歳児は、時折、お家の人を思い出しますが、教師が一人一人と向き合い、かかわることで安心感をもつようになりました。様々なコミュニケーションを図りながら個々の興味・関心を探っているところです。少しずつ子どもたちの表情が変わってくる様子や言葉が増えた姿を見て、日々の成長が伝わってきます。

また、新しいクラスに進級した子どもたちも実は、ドキドキ・ハラハラしています。慣れているようで子どもたちは環境の変化を敏感に感じています。

今月は、全ての学年が新しい環境の中で、自分の遊びを見つけたり、生活に慣れていったりすることを大切にして過ごしています。

第17回入園式 期待感をもって新しい生活をスタート  
～楽しい遊び、歌や絵本、友だちの存在を知ることが大切～

ももっこキャッチ  
フレーズ



大切な名前を先生に呼んでもらいました。  
色々な返事の方法で答えていました。素敵ですね。



新入園児にお祝いの  
ペンダントを贈ったり園歌をうたったりする(5歳児)



～先生たちの紹介～

2学期の始業式 ～目的意識をもって過ごすために、さまざまなねらいをもって式を進めました～



絵本を楽しんだり、ももっこ信号を確認したりする。



年長組になった喜びを  
進んで発言する(5歳児)

先生たちの名前を呼んでみよう!



～ねらい:新しい学年になった喜びを共有する～

安心感をもってスタートをしてほしいと願い  
絵本を通し、今の気持ちを色で整理してゆっくり  
始められるように話をしました。

新しい仲間も増え、年中児・年長児は「ももっこキャッチフレーズ」を基本にして、子ども会議で話し合いをしています。年長組は、楽しい新入園児歓迎会はできないものかと話し合っていました。今までの生活経験があるからこそ知恵を出し合えるのだと思います。

2026年度  
ももっこキャッチフレーズ誕生



～始業式、入園式で導入～  
みんなで確かめあい考える

今年は、子どもたちに分かりやすいキャッチフレーズを提案しました。

- ① 「あそぶ」好きな遊びを自分の力で見つけて夢中になる【学力】
- ② 「げんき」毎日、身体を動かして心も身体も元気にする【キャリア】
- ③ 「かんがえる」自分の気持ち確かめながら人の気持ちを考える【人権】

この3点をねらって生活を進めていこうと思います。これらは、園マニフェストにもリンクするものです。マニフェストは後日、提案させていただきます。この目標は、お家の人も一緒に共有しましょう。

子どもの身近にいる大人も目標をもち、園の教育内容を共有して気持ちを合わせて進めていきましょうね。そして何事も一緒に考えていきましょう。

～ねらい：友だちや先生と一緒に活動する楽しさを味わう体験を重ねながら心地よくつながりあう

興味・関心をもって友だちや先生と遊びを楽しむ(3歳児)



幼稚園教育では、他者との心地よいつながりができるように環境を整えています。各年齢の保育室には、子どもたちの様子に合わせて少しずつ環境設定を変えていきます。現在、他者からの認められる言葉掛けによって育っていく成長過程の中にいます。楽しみですね♡

構成して遊ぶ(4歳児)



自然物を通してつながりあう(4歳児)



子どもたちの姿を捉え、一人一人に育ってほしい力は何かを探りながら、物的・人的環境を整えています。その中で子どもたちが少しずつ、つながりあえるように保育環境を構成しています。

仲間と協同して遊びを進めたり、ダイナミックな遊びに挑戦したりする(5歳児)



～4月あさがおイラスト～  
生き物を大切にする  
つむぎさん

あさがお：江戸時代から親しまれた花です。とりわけ朝顔はその色の種類、大きさの違いなど、変化に富んだ多様性において「多様な主体性の涵養<sup>かんよう</sup>」の見える象徴的な花に相応しいのではと思い、この幼稚園だよりのタイトルにしました。

涵養<sup>かんよう</sup>とは、自然にしみこむようにという意味です。無理なく自然にたくましく育ってほしいという願いを込めています。

文責 まつなが あい